

2021年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
HOUSE 4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	SAM/PIn0/HERO/SHUHO			実務 経験	有	職種	プロダンサー				
授業概要											
この科目ではストレッチやアイソレーション等、ストリートダンスに必要な基本的な体の動きを学びます。またハウスのステップを確実に修得したうえで、作品作りではコンビネーションや様々なテクニックを学びます。											
到達目標											
HOUSEの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解する。音楽の中でグループを掴み表現する。											
授業方法											
ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	SAM先生応用④/難易度の高いステップを組み合わせ時間内にグループで発表を行う										
第2回	SAM先生応用⑤/時間内に基礎・応用を組み合わせたステップと振付を覚え、模擬オーディションを行う										
第3回	SAM先生応用⑥/既定の振付に自分が得意なステップを組み合わせグループで発表を行う										
第4回	PIn0先生応用④/ステップから基礎的なアクロバットへのスムーズな流れが実践できるようになる										
第5回	PIn0先生応用⑤/ステップから難易度が高いアクロバットへの流れを実践し、グループで発表を行う										
第6回	PIn0先生応用⑥/既定のステップと自由にアクロバットを各グループで構成し、グループで発表を行う										

2021年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
HOUSE 4	
第7回	SHUHO先生応用④/既定のステップを複数の楽曲で踊り分け、音楽とリズムへの意識を高める
第8回	SHUHO先生応用⑤/グループに分かれ既定の振付を基にアレンジをし、発表をする
第9回	SHUHO先生応用⑥/変則的なリズムとステップも正確に表現ができるように実践する
第10回	卒業公演 振付①/振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する
第11回	卒業公演 振付②/ユニゾンパートの振付を練習する
第12回	卒業公演 振付③/ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める
第13回	卒業公演 振付④/オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を定める
第14回	卒業公演 振付⑤/ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる
第15回	レベルチェック/振付①～⑤までの精度を確認し、パート構成に臨む準備をする